

< I 大同大学・中期計画 > [2020年4月～2025年3月]

建学の精神:産業と社会の要請に応える人材の養成
<大同学園2020-2024中期計画基本方針>
【建学の精神に立ち返り、再構築する】
「産業と社会の要請に応える人材の養成」「社会で有為な人材の育成」
 ～高大社の連携・接続で社会で活躍する人材を輩出～
 - 社会で活躍する卒業生及び卒業生が所属する企業・団体との連携強化 -
DAIDO VISION 2030
「自分が変わる、未来を変える。」
大学の理念:「実学主義」
 ～大同大学は、実学の教育研究を通じて産業界と社会に貢献します～

中期計画実行委員会
【大学】 教学専門部会

	入試広報戦略WG	教育WG	学生支援WG	学生支援WG	地域連携WG		
目標 (基本方針)	I-1学生確保	I-2教育(学部・大学院)	I-3学生生活	I-4学修支援・授業支援	I-5キャリア支援	I-6研究・地域連携・産学連携	I-7教学マネジメント
目標達成項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学長室または戦略室の確立 ○ 改組を含む魅力的な教育組織の再構築の検討 【A 大学広報】 ① ホームページ、大学案内、各種パンフレットの見直し ② 戦略的プロモーションビデオの作成 ③ 70歳以上対象に沿った紙媒体広告、学外広告等の整理 ④ 高校教員及び高校生への訴求力アップ ⑤ SNSの有効活用や学生広報チームの確立 ⑥ ニュースリリース、新聞掲載等の増加の方策検討 【B 入試関係】 ⑦ 適正な入学定員の確保 ⑧ より学力の高い学生増 ⑨ 入試制度見直し検討 ⑩ 学科・専攻の状況を踏まえた女子学生増の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産業と社会の要請に即した人材の育成を起点として、「教育の質の向上⇒学生の学力の向上⇒社会の信頼⇒入学生の質の向上」好循環サイクルの確立 【A 学部】 ① 大学全体、各学科専攻の将来の方向性やビジョンの検討に基づき、学位プログラム(学士課程教育プログラム)の見直し ② 現在のCPの第1項に基づき、専門教育・教養(共通)教育の接続や教養(共通)教育の在り方 ③ 教育課程の構造化の深化 ④ アクティブラーニング型科目の適切な導入 ⑤ 次の各項目の達成に向けた全学的取組・単位制度の実質化、厳格な成績評価、授業科目の目的に応じた様々な学修形態の導入(反転授業等) ⑥ リカレント教育(卒業生、企業、リタイア層、高齢者など)の積極的推進 ⑦ 学力の高い学生層に対するプログラムの検討 【B 大学院】 ⑧ 大学院の魅力化推進・学外社会人の積極的な入学啓発 ⑨ 大学院教育内容の洗練化 ⑩ リカレント教育(卒業生、企業、リタイア層、高齢者など)の積極的推進 ⑪ 大学院、委託生、科目等履修生などの活用と広報 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学修・教育に必要な環境整備と支援(大学デジタル化・地域共生を視野) 【A 保健衛生・健康増進の環境整備】 ① 要支援学生の対応強化と最適支援体制の構築 ② 病気予防・感染症対策への体制強化 ③ 健康増進のための体制強化 ④ 健全な食意識の向上と強化 【B 学生生活支援とその改善】 ⑤ 孤立学生支援と退学率の低減策 ⑥ 奨学金制度の見直しと支援策 【C 環境の整備】 ⑦ 学生ホールの地域共生・交流空間化 ⑧ 後援会役員の要望に対する検討(女子学生増棟) 【D 国際交流】 →従来の留学制度を見直し、本学における担当部署も含めた国際交流実施の検討 ⑨ 国際交流を検討するための学長直属のWGの立ち上げ ⑩ 短期、長期の留学を含む研修プログラム等の検討 ⑪ 学術提携校との連携推進・留学生の受け入れ増・在学留学制度の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力不足の学生に対する正規授業の学修達成に対する支援 ○ 教員が行う授業のより一層の改善、開発への支援及び教育責任の遂行への支援 ○ 学修支援および授業支援に関する施策の効果検証を行うための教育IR活動の枠組みの整備 ① 基礎学力が不足している学生の学習の継続的な支援 ② 教育効果を高める授業支援 ③ 学位授与の方針を踏まえた人材の養成等を達成するための教育改善の支援 ④ 学習支援および授業支援施策の効果検証 ⑤ 学修ポートフォリオ(仮称)の作成と学習面談での利用の推進 ⑥ 図書館利用の促進と効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労能力・就労意識・就職先等の把握、周知・分析によるキャリア支援体制の改善 ○ 各学科専攻教員による担当する学科専攻学生の就職支援体制の強化 【A 就労能力・就労意識】 ① 学生の就職観向上への支援体制の構築 ② 就労意識の向上と積極的なインターシップ、資格取得等参加者による就職支援体制の整備 ③ 新たなキャリア支援(キャリア教育)の模索 【B 就職指導体制】 ④ 各学科専攻の状況把握及び各学科専攻と協力して就職状況を改善する体制の構築 【C 企業開拓と調査】 ⑤ 本学学生が活躍できる企業分析と開拓 ⑥ 卒業生アンケート及び就職先企業によるOB評価の向上策 ⑦ 他大学比較と差別化策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続的な地域連携のための体制と制度の整備 ○ 地域や産業における特徴や強みを踏まえた研究領域の選定と推進 ○ 外部資金の獲得に向けた組織や体制の構築 【A 効率的な企画、運営体制の確立】 ① 地域連携や研究産学連携、外部資金の獲得等をコーディネートできるURAの検討 ② 地域連携と研究産学連携の再検討 【B 実施項目】 ③ 地域構造・課題の把握 ④ 地域活動やボランティア活動などをマネジメントする学生活動センターの設置 ⑤ 地域防災、福祉への貢献 ⑥ 関連企業との交流拡充(情報交換、同窓会活動との接続、研究等) ⑦ 本学の強みとなる研究分野の検討 ⑧ URAの活用による外部資金導入の活性化(科研費、公的研究助成等) ⑨ 他大学との連携(研究、資格等)の検討 ⑩ 学内資源情報の集約と共同研究プラットフォームの見直しによる学内共同研究組織の検討 ⑪ 研究紹介・情報発信の充実 ⑫ 技術相談・技術指導体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目的を達成するため、3つのポリシーに基づき評価・改善を図りながら教育の質の向上を図るための組織的な仕組み(システム)(以下「教学マネジメント」)の確立 ① 学長を中心とした全学的な教学マネジメント組織の構築 ② 3つのポリシーの前提となる本学及び学科の教育目的に関する戦略的検討 ③ 検討後の大学及び学科の教育目的を基に、3つのポリシーの見直し ④ IRに必要な入試・履修状況・卒業・就職等に関するデータの一元管理と有機的分析・活用のための組織体制の確立 ⑤ IR手法を用いた3つのポリシーの組織的な分析とPDCAの取組み ⑥ 学生の意見、保護者の希望、企業・社会・地域からの人材ニーズ等を踏まえた総合的な方針決定を行う仕組みの構築 ⑦ 教職員に対するFD/SD研修の強化